

新緑の季節を迎えて

令和6年度も早一月が過ぎ、スタート時の混乱も少し収まってきたころでしょうか。保護者の皆様におかれましては、日頃より神川中学校へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

この時期、本校では定期の家庭訪問を実施しています。疲れの出てる頃に、子どもたちは午前中だけの授業で少しホッとする時間を過ごしているようです。部活動に参加している生徒はその分活動ができますので、一気に力を付けられる時期でもあります。赴任して一か月、日々の子どもの様子を見ていると、固さが少し取れてきて学級になじんできたようです。私自身も神川のペースをつかみつつあります。天気の良い日は桂川のサイクリングロードを通過して通っていますが、桜が散って緑が濃くなりつつある風景を目にしながらかれからの変化が楽しみになっています。

今、部活動の地域移行と教職員の働き方改革がよく話題に上り、耳にされることも多いかと思えます。春季大会で神川中の選手たちはとてもよく頑張っています。数年前まで、部活動をしている生徒の完全下校時間は夏だと18時ごろが当たり前になっていました。教職員の勤務時間の終了は17時ごろです。毎日1時間の残業が手当てもつかずに強いられていたということです。教員採用試験の受験者数は年々減少し、他の業界と同じく教育の世界も人手不足が慢性的になっています。このままでは日本の公教育は崩壊してしまうのではないかと危機感を抱いて、働き方改革を勧めなければならない状況になったわけです。そんなことは予測できただろうと、お叱りを受けそうな話ですが、それも徐々に変化してきています。学校現場からしてみると現場の窮状が届き、いよいよ改革が進められるという思いでおります。教職員にゆとりが生まれてこそ、教育の質が上がり、生徒に資することにつながるのは自明です。そのためにも神川中学校でも改革を進めていきます。まず、現在18時30分で電話対応を終了させていただいておりますが、年度内には18時での終了を予定しております。これでも勤務時間はオーバーします。いずれ勤務時間終了と同時に電話対応終了としたいです。また、懇談会などは勤務時間内に終了することを徹底しております。保護者の皆様にはご不便をおかけすることになりますが、教職員の労働者としての権利を守り、良質な教育を提供するためにご理解とご協力をお願いいたします。

部活動についても神川中学校ではまだ顧問の確保が大きな問題にはなっていませんが、時間の問題です。少子化の進行とともに教員の配置数も減り、顧問を持てる者も少なくなります。そうはならないように最大限の努力を図りますが、顧問の配置のない部活動はいずれ消滅してしまいます。地域移行を速やかに進めて、子どもたちの活動の確保をしなければなりません。消極的

な話題で申し訳ありませんが、これが今の教育現場を取り巻く現状です。

このような中でも中学生たちは、日々生き生きと活動しています。彼らの元気な声が学校に響くのはいいものです。生徒がいてこそその学校、当たり前ですがその当たり前をありがたく感じる毎日です。日頃のご家庭でのご指導が行き届いていることがよくわかります。改めて感謝申し上げます。ただ、思春期の子どもたちと日々対峙すると保護者の方が疲れ切ってしまうことも多いのではないのでしょうか？大人も子どもも自分の時間を大切にできればいいですね。あまり時間は取れないでしょうが、本を1冊紹介させてください。

「親になってもわからない」(深爪著)

これは特にお母さま方から共感を得られるのではないかと思います。あんな悩み、こんな悩み、あるあるにあふれています。でも根底に流れているのは深い愛情です。日々の子育て疲れが少しはいやされるかもしれません。

五月病を吹き飛ばすように、全力で子どもたちを応援していきます。今月もよろしくお願いいたします！

5月の主な行事

7日(火)～10日(金) おいでよ週間(教員の相互授業参観週間)

10日(金) 5時間目授業参観

6時間目 PTA 総会

放課後部活動保護者会

15日(水) 中央各種委員会

18日(土)～20日(月) 3年生修学旅行(沖縄方面)

28日(火)～31日(金) 2年生チャレンジ体験